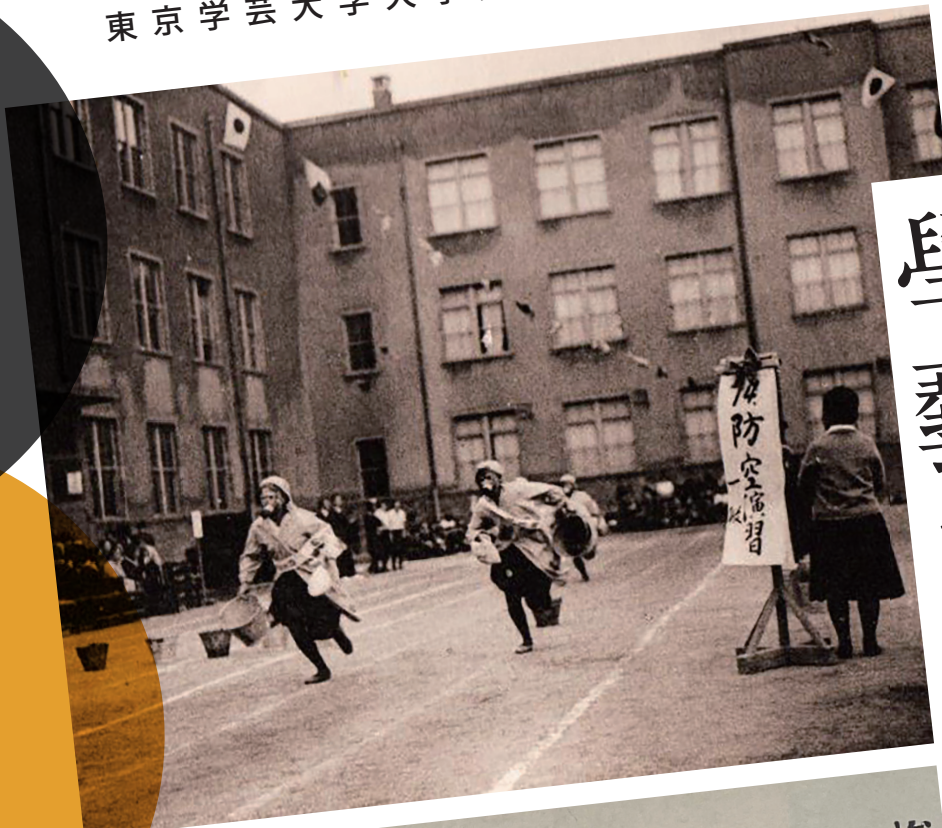


Gakugei
Album
2023
Summer



師範学校の歴史をふり返る
學藝アルバム



●写真上：「女子師範学校・防空演習」(1937年)「東京府女子師範学校 第36回卒業記念」1938年
●写真下：東京第一師範学校男子部附属国民学校「集団疎開絵巻」

師範学校の展開と戦時下の様子

【会期】2023年7月5日(水)～9月29日(金)

【時間】[平日] 10:00～16:00

【場所】東京学芸大学附属図書館3階 大学史資料室

【問合せ先】東京学芸大学大学史資料室 [電話]042-329-7277

[メールアドレス] shiryou@u-gakugei.ac.jp





大学史資料室常設展示によせて

東京学芸大学大学史資料室は、2021年度より図書館3階に事務室と閲覧室を開設して、常設展示を行っています。これは、東京学芸大学大学史資料室が設立から10年を経るなかで、大学史資料室の機能を一層高めるために取り組むものです。

大学史資料室は、本学の運営及び教育研究等に関する重要な資料、また本学の歴史に関する重要な資料をそれぞれ調査・収集し、その資料の整理、保存及び公開を行うことを任務として出発しました。これは、わが国の教員養成の中核をなしてきた本学の位置を鑑みれば、明治期以来の日本の教員養成の歩んできた歴史の資料を調査・収集し、それを保存・公開していくことと重なります。その意味で、常設展示の実現は、整理・保存してきた資料を継続的かつ安定的に公開する機会を用意できたものであり、その意義は非常に大きいといえます。

常設展示は、年間テーマを設定し、1年間を4～6月、7～9月、10～12月の三期に分けて展示内容を換えていきます。そしてこれを2年サイクルで回し、1年目のテーマは「師範学校の歴史をふり返る」、2年目は「東京学芸大学のあゆみ」とし、戦前から戦後の本学と教員養成の歴史を辿ります。

今年度全体のテーマは「師範学校の歴史をふり返る」ですが、第二期は7月5日から展示を開始し、今期のタイトルは「師範学校の展開と戦時下の様子」です。この展示では、1930年代後半以降の時期を中心に、戦時下における師範学校および師範学校附属小学校(国民学校)の活動や生活について、当時の写真や資料から読み解きます。展示資料は、師範学校における勤労働員や師範学校生徒の出征に関する資料(東京第一師範学校男子部『出勤学徒勤労働態』や東京第二師範学校男子部「出征兵士寄せ書き国旗」など)や、附属国民学校の集団疎開に関する資料(東京第一師範学校男子部附属国民学校『集団疎開絵巻』)など、多岐に亘ります。また1930年代後半から1940年代前半の師範学校の卒業アルバムに掲載されている勤労働員や軍事演習・防空演習に関する写真、戦時下における師範学校生の生活の様子の写真なども展示しています。

今年、東京学芸大学は、1873年に東京府小学教則講習所として設立されてから150年目の「創基150周年」を迎えます。

今期の展示は、この創基150周年を振り返ることにもつながります。私たちは、過去から未来へと、小さくとも確実な歩みを進めています。ぜひとも、本学学生、卒業生、教職員、そして関係者のみなさんには、常設展示に映し出される東京学芸大学の歴史とそこで学んできた学生の姿を展示からご覧下さい。

2023年7月5日

東京学芸大学大学史資料室長
副学長・附属図書館長

川手 圭一

Gakugei
Album
2023
Summer

師範学校の歴史をふり返る
學藝アルバム

